

# 楓の沢 山行記録

実施時 令和 2年(2020年) 8月 2日(日)

場 所 楓の沢(支笏湖)

参加者 宇田(C L)、A班:内山(L)、西田(芳)(SL)、川村、及川、増川、竹内  
B班:宇佐美(L)、藤木(晴)(SL)、山岸、笹山、谷、西田(昌)、長沼  
C班:門馬(L)、相馬(SL)、武川、栗山、八重樫、小笠原

7:30 駐車場(樽前荘)に到着。トイレは『使用禁止』の看板。

7:50 出発。出発にあたり、CLからの訓示と消防署スタイルによる小気味よい号令。

8:10 楓の沢入り口に到着。いよいよ【ガロー】に

- ・ガロー内は、苔むした岩の間の砂地を進む。前進を遮る倒木や露岩をスベリながら乗り越し・腰をかばいつつくり抜け、そして迂回路と変化に富んでいました。
- ・樽前山は、4万年前に出現した支笏カルデラの壁上にできた火山で、9,000年前から現在まで活発な火山活動を続けています。
- ・樽前山の溶岩ドーム(粘り気あるマグマ)は1909年(噴火はなかった)に出現しました。最近の大噴火は、1667年と1739年にありましたが、以後100年以上も噴火しておりません。
- ・本日の『ガロー地形』は、噴火時の火砕流(1991/6/3の雲仙普賢岳を参照)が流れて堆積し、弱く溶結したもので、その後、川(や水)によって浸食されたものです。



ガローでのひととき

10:30 ガロー終了、二股到着

イソツツジ、白玉の群落あり。

11:15 風不死岳からの登山道に合流

13:30 駐車場に到着。車両の回収に向かう。

14:00 解散。



昼食風景 11:25~12:05



野外できつ札や小銭が舞う

長沼



成功は、十分な段取り(事前調査)にあり。勿論、新北海道スタイルです。